

大学名 大阪教育大学

第74号 特集タイトル
「未来社会に向けた教員養成」

表題 学び続ける教員を支える生涯学習プラットフォーム  ozone EDU

大阪教育大学は、愛知教育大学と共同して、教員及び教員志望者を対象とした生涯学習プラットフォーム「OZONE-EDU」(オゾン)を提供している。

OZONE-EDUの特徴

Point 1 オープンエデュケーション

誰でも・いつでも・どこでも・自由に受講できるオープンエデュケーションとして提供している。教員は必要とする内容の研修を必要なときに受講することができ、自分のペースで学ぶことができる。

Point 2 マイクロラーニング

2分から15分程度で一つの学習が完結するマイクロラーニングの仕組みを取り入れている。忙しい教員が、通勤・移動中や休憩中などの隙間時間を利用して、学び続けることができる。

Point 3 デジタルバッジによる履修証明

本学と連携する教育委員会に所属する教員には、すべての学習項目の受講完了後に「能力バッジ」というデジタルバッジが発行され、研修の履修証明として提出することができる。デジタルバッジが研修記録となるため、学校管理職等は研修の奨励を含む適切な指導・助言を行うことができる。

Point 4 教員育成指標と対応した体系的な学び

OZONE-EDUで提供する研修と、連携教育委員会の教員育成指標を対応させたバッジマップを公開している。教員はバッジマップを見て、教員育成指標を意識しながら研修を選択することが可能。

受講登録者数

6,654 名

(2025年1月9日時点)

提供科目数

45 科目

(2025年1月9日時点)

利用自治体数

6 教育委員会

(2025年1月9日時点)

受講者満足度

93.2 %

(2024年3月31日時点)

教育委員会・学校法人等での活用

左記の他、教育委員会・学校法人等と連携したオンデマンド研修も実施している。

教育委員会の計画する法定研修等に位置づけることや、OZONE-EDUのコンテンツと教育委員会独自の研修(対面研修、オンデマンド教材による研修等)をOZONE-EDU上で組み合わせた研修の実施などを展開している。

今後の展望

引き続きコンテンツの充実を図るとともに、教員養成フラッグシップ大学として、独自科目の内容もオンデマンドコンテンツ化し、発信を行っていきたい。また、これらの科目を中心に、学内外の教員養成への活用も図りたい。

OZONE-EDUをより広く活用できるよう、大学・教育委員会等との連携も強化していきたいと考えている。

参考URL

OZONE-EDU(<https://o3edu.osaka-kyoiku.ac.jp>)

